

専務	職員
大倉	近内 元山

福島労発雇均 0619 第 1 号

令和元年 6 月 19 日

各地区労働基準協会長 殿

福島労働局長



### 夏季における年次有給休暇の取得促進について

労働行政の運営につきましては、平素より格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

福島県における年次有給休暇の取得率は、平成 29 年で 47.8%（別添参照）と全国平均（51.1%）よりも低い状況にあり、また、週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合も 8.0%（平成 29 年）である等、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現のためには、より一層積極的な施策の展開が求められています。

年次有給休暇の取得促進については、「ニッポン一億総活躍プラン」（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）において「企業における労使一体での年休の取得向上」が掲げられるとともに、「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成 28 年 3 月 30 日閣議決定）において、「観光先進国」に向けて、働き方・休み方改革を推進し、年休の取得を一層促進させることとされるなど、重要な課題となっています。

このような状況を踏まえ、厚生労働省では年次有給休暇取得促進期間（10 月）に加え、年休を取得しやすい時季を捉えその環境整備を進めており、夏季における社会的気運の醸成を図るため、ポスター及びリーフレットを活用した広報及び関係機関に対する働きかけを行うこととしております。

貴職におかれましても、この趣旨を御理解の上、別添ポスター及びリーフレットを掲示・配布していただくとともに、広報誌やホームページ等により周知していただきますよう、特段の御配慮をよろしくお願ひいたします。

暑い夏 メリハリを付けた

働き方で

充実した人生を

仕事はチームで行い、  
休みやすい職場環境に

# 仕事 休もつ化 計画

重要な仕事こそ  
計画的に



今年から、あなたの会社にも「ゆう活」を取り入れませんか。

「ゆう活」とは、日照時間が長い夏は早くから働き、その分早めに仕事を終えて、まだ明るい夕方の時間を有効に活用しようとする取組です。 「朝型勤務」や「フレックスタイム制」などの導入が効果的です。 ゆう活の取組を通じて、業務の効率化が図られ、長時間労働が抑制されるなど、企業にも様々なメリットがあります。



# 労使一体となって計画的に年次有給休暇を取得しよう



## ●労働基準法が改正され、年5日間の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」(以下「計画的付与制度」という。)とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。

労働基準法が改正され、平成31年4月より、使用者は、法定の年次有給休暇付与日数が10日以上の全ての労働者に対し、毎年5日間、年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。なお、下記の時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

計画的付与制度を導入することは、年次有給休暇の取得を推進するとともに、労働基準法を遵守する観点からも重要となります。

### 1)導入例

#### 例えば、2019年の夏季休暇に導入すると？

年次有給休暇を土日、夏季休暇と組み合わせて、連続休暇に。

土日の休日や夏季休暇に計画的付与の年次有給休暇を組み合わせて大型連休にすることができます。また、□点囲みのような日に年次有給休暇をさらに組み合わせること(プラスワン休暇)も可能です。

2019年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
山の日	振替休日	夏季休暇	夏季休暇	夏季休暇	計画年休	
11	12	13	14	15	16	17
	プラスワン休暇	18	19	+1	20	21
		25	26	27	28	29
					30	31

### 2)日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

### 3)活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用

注) 就業規則や労使協定のモデルは、「年次有給休暇取得促進特設サイト」をご覧ください。

## ●時間単位の年次有給休暇を活用しましょう。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位での取得が可能となります。

### (労使協定で定める事項)

#### ①時間単位年休の対象労働者の範囲

対象となる労働者の範囲を定めてください。一部の者を対象外とする場合には、「事業の正常な運営を妨げる場合」に限られます。

#### ②時間単位年休の日数

1年5日以内の範囲で定めてください。

#### ③時間単位年休1日分の時間数

1日分の年次有給休暇が何時間分の時間単位年休に相当するかを定めてください。1時間に満たない端数がある場合は時間単位に切り上げてください。(例)所定労働時間が1日7時間30分の場合は8時間となります。

#### ④1時間以外の時間を単位として与える場合の時間数

2時間単位など1日の所定労働時間数を上回らない整数の時間単位を定めてください。

注) 就業規則や労使協定のモデルは、「年次有給休暇取得促進特設サイト」をご覧ください。